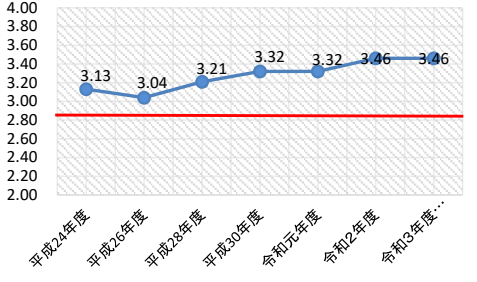
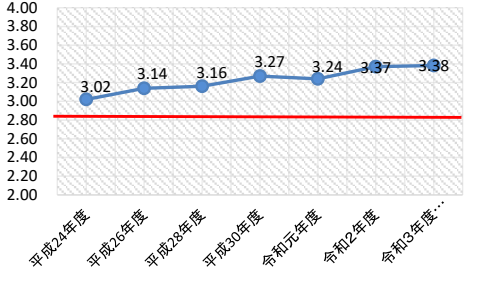
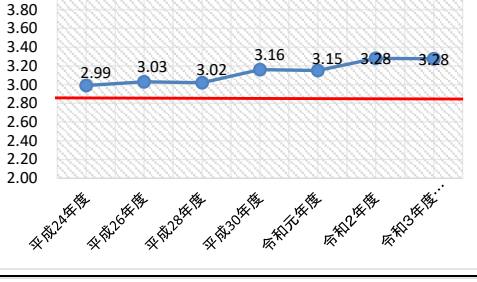
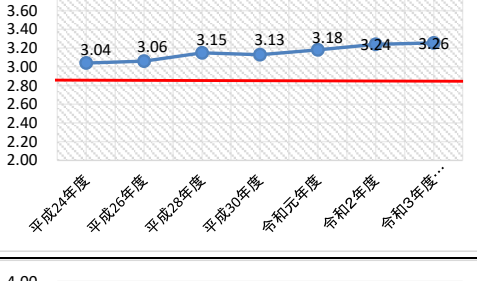
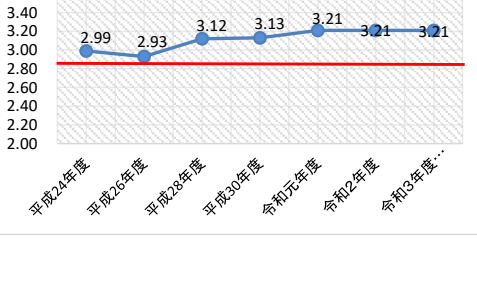
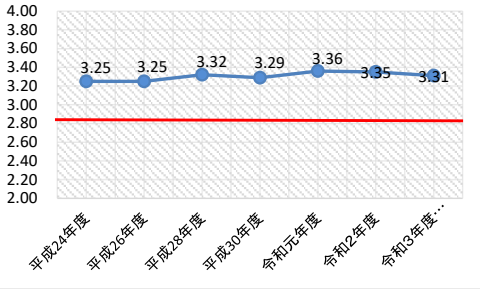
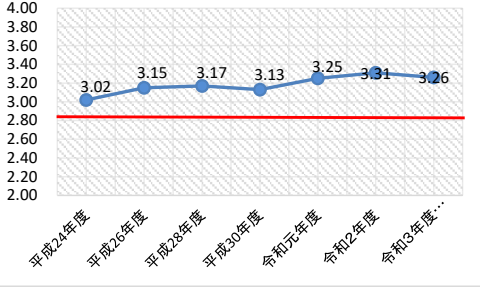
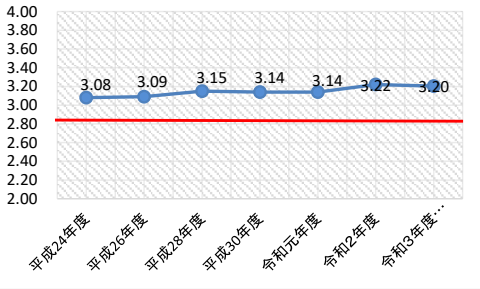
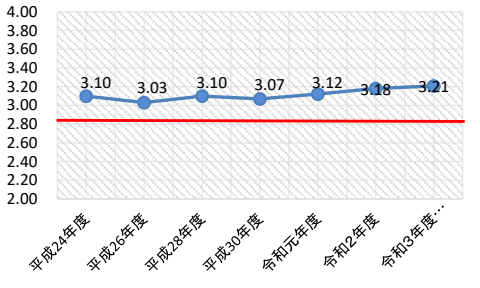
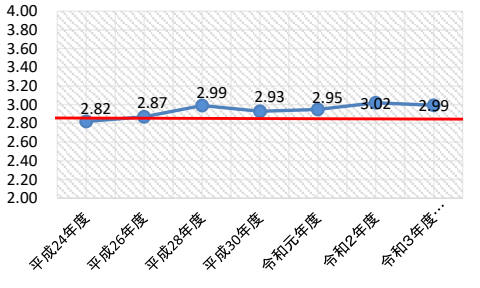
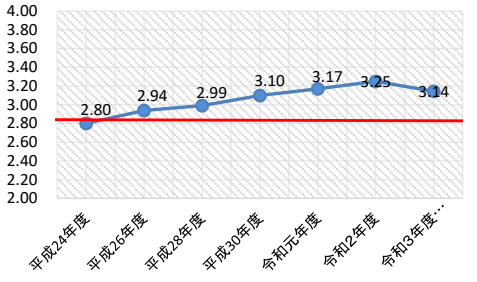
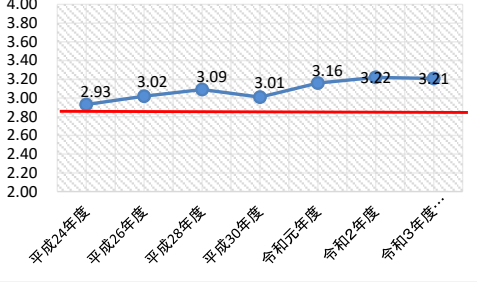
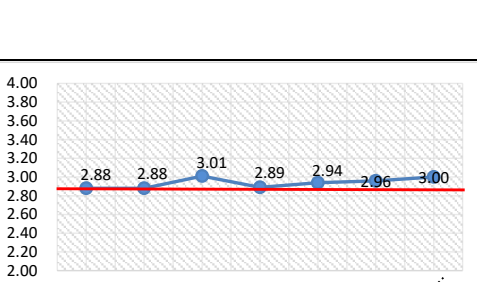
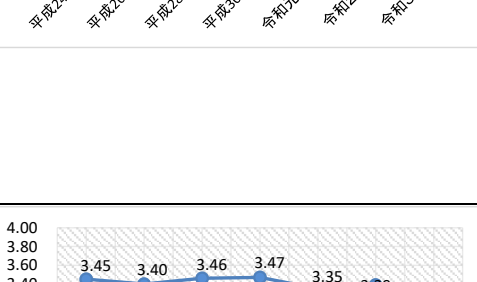
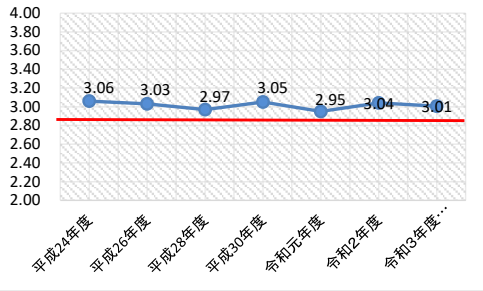
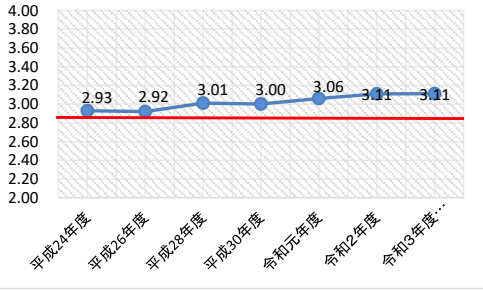
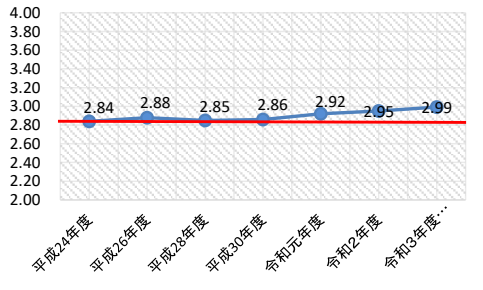
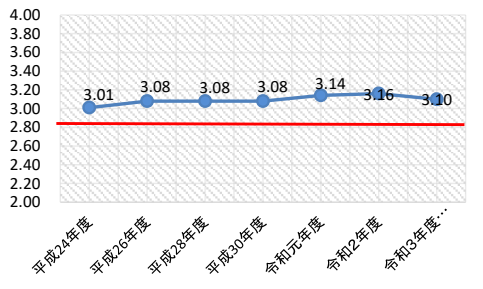
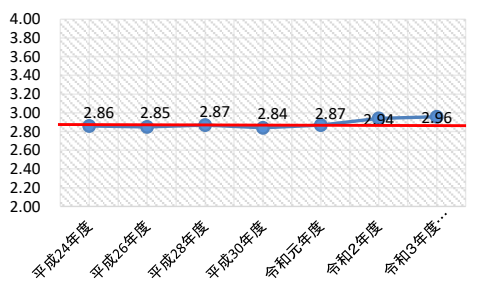


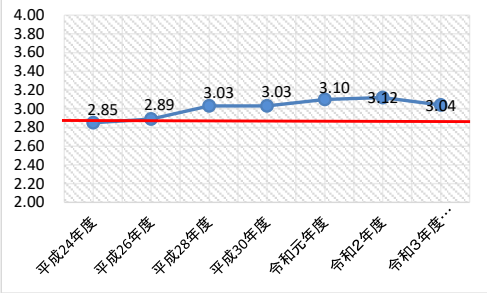
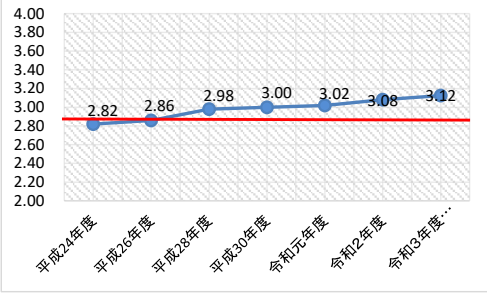
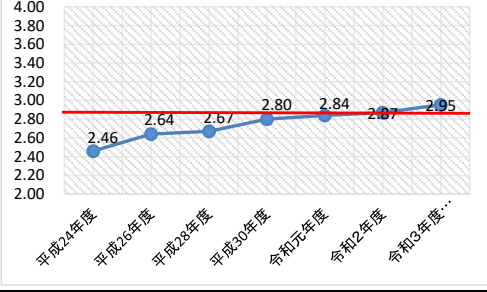
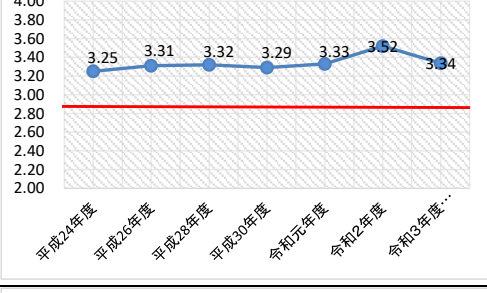
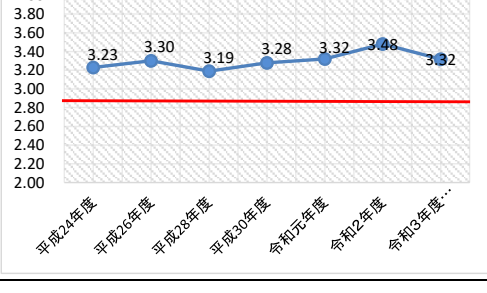
第二次佐久市総合計画後期基本計画 施策目標(市民満足度)設定シート

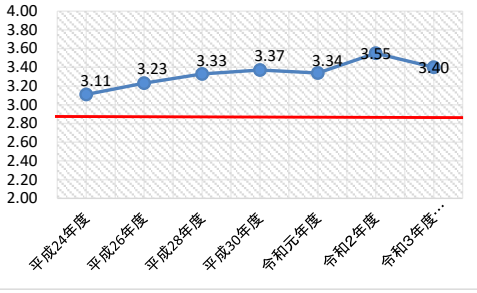
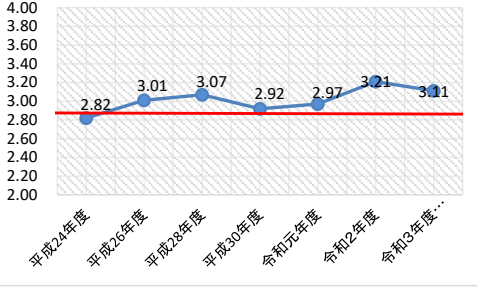
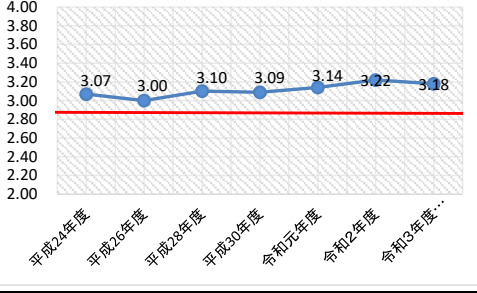
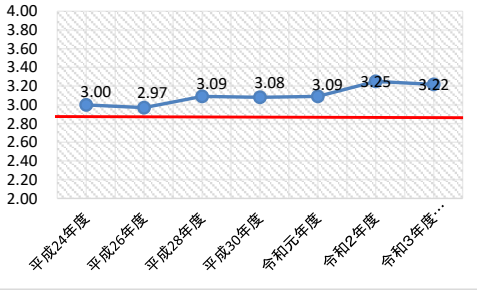
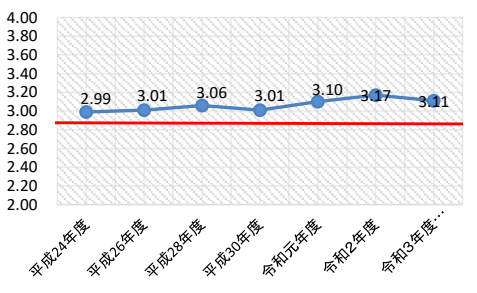
No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値 との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する 考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
1	1	幼児教育	●幼児教育の充実 ●幼児教育環境の整備 ●幼児の生活習慣指導の充実 ・私立幼稚園の運営に対しての補助 ・「食育・育児講座」の開催 ・幼児教育・保育の無償化	3.13	3.04	3.21	3.32	3.32	3.46	3.46		3.48	0.02	満足度指数は、平成28年度に上昇に転じ、以降高い値で推移している。 これは、施設整備や幼児教育・保育の無償化といった幼児教育環境の向上などによるものと考えられる。 引き続き幼児教育の充実に取り組み、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、高い満足度を維持するため、3.48とする。	子育て支援課	(5)
2	1	学校教育	●学校教育施設の充実 ●小中学校の教育の充実 ●特別支援教育、不登校対策の推進 ●学校給食の充実 ●子どもの健康と安全対策の推進 ・臼田地区新小中学校の建設や学校施設の計画的補修 ・スクールメンタルアドバイザー、就学支援委員会専門員、学力向上支援員等の配置 ・私立小中学校への1人1台タブレットの配置	3.02	3.14	3.16	3.27	3.24	3.37	3.38		3.48	0.10	満足度指数は、微増ではあるが上昇傾向である。 今後も、学習指導要領の改訂や、日々変化する社会の変化を踏まえ、中・長期的な視線に立ち、佐久市教育振興基本計画の具現のために必要な施策を行い、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.48とする。	学校教育課、教育施設課、学校給食課、国保医療課	(1)イ
3	1	高校教育・高等教育	●高校教育の充実 ●将来を担う優秀な人材の育成 ・市独自の奨学金制度(償還金の一部免除制度有) ・信州大学、佐久大学、佐久大学信州短期大学部との包括連携	2.99	3.03	3.02	3.16	3.15	3.28	3.28		3.38	0.10	満足度指数は、高い値で横ばい傾向にある。 今後も、佐久市奨学金制度の充実や、各種高等教育機関との連携による地域活性化などにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.38とする。	学校教育課、企画課	(1)イ
4	1	青少年健全育成	●地域ぐるみの青少年育成 ●将来を担う青少年育成 ●交流・学習拠点施設の充実 ・補導委員等による街頭補導活動 ・市内中学生を対象とした海外研修(エストニア共和国・モンゴル国)の実施	3.04	3.06	3.15	3.13	3.18	3.24	3.26		3.32	0.06	満足度指数は、上昇傾向にある。 今後も、地域ぐるみの青少年健全育成の推進を図るため、地域の育成会活動の支援を実施することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.32とする。	生涯学習課、公民館	(5)
5	1	文化・芸術	●文化・芸術の振興 ●既存施設の充実と有効活用 ●市民の文化・芸術活動の促進 ●佐久の先人(業績・影響などを残した人物)の成果の活用 ●文化財の保護・継承と活用 ・文化振興基金を活用した「キッズ・サーキット in SAKU」等の事業の実施 ・こども考古学教室の開催	2.99	2.93	3.12	3.13	3.21	3.21	3.21		3.30	0.09	満足度指数は、これまで上昇傾向にあったものの、令和元年度以降は横ばい傾向で推移している。 これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種イベントの中止や観覧系施設の展覧会等の中止、施設の利用制限を行う必要があったことなどが影響しているものと考えられる。 今後も、更なる文化振興を図るため、文化芸術活動の充実と施設利用を促進することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、前期基本計画期間の上昇幅と同様、5年間で+0.09ポイントの上昇を見込み3.30とする。	文化振興課、近代美術館	(1)ア

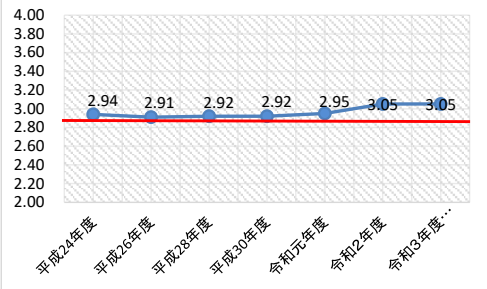
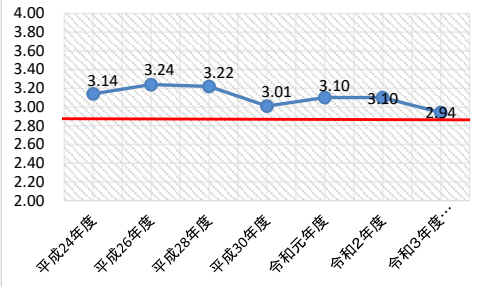
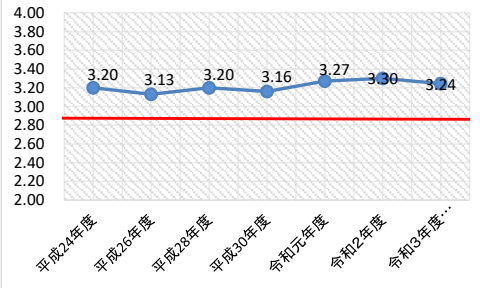
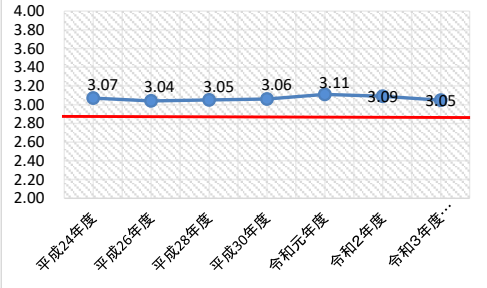
No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
6	1	生涯学習	●生涯学習活動の充実 ●生涯学習環境の整備 ●図書館サービスの充実 ・公民館等を利用した世代間の交流や講座等の開催 ・図書館講座等の開催、移動図書館車の巡回	3.25	3.25	3.32	3.29	3.36	3.35	3.31		3.37	0.06	満足度指数は、比較的高水準で推移しているものの、令和元年度以降やや下降している。 これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、施設の利用制限や事業の中止、規模を縮小したこと等によるものと考えられる。 今後も、地域力を高めるためにも生涯学習の更なる推進を図る必要があることから、各種施策の充実を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み、3.37とする。	生涯学習課、公民館、中央図書館	(5)
7	1	スポーツ	●生涯スポーツの振興 ●競技スポーツの振興 ●東京オリンピック・パラリンピックの開催による交流の推進 ●体育施設の充実 ・スポーツ大会や教室、イベントの開催 ・ホストタウンとしてのエストニア共和国との交流推進 ・体育施設の計画的な整備や機能の充実	3.02	3.15	3.17	3.13	3.25	3.31	3.26		3.35	0.09	満足度指数は、概ね上昇傾向であったものの、令和3年度は減少している。 これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、スポーツ大会・イベント等の中止、体育施設の利用制限を行ったことが影響しているものと考えられる。 一方で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催やコロナ禍での行動自粛は、スポーツの持つ価値が再認識される契機となったものと考えられる。 今後、さらなるスポーツ振興の推進に向け、スポーツイベントの開催や、体育施設の整備・機能充実を図るとともに、利便性を向上させることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、前期基本計画期間の上昇幅と同様、5年間で+0.09ポイントの上昇を見込み3.35とする。	スポーツ課	(1)ア
8	1	人権尊重社会	●人権意識の高揚 ●人権教育の推進 ・人権・男女共生フェスティバルの開催 ・佐久市男女共同参画推進事業者表彰の実施 ・配偶者暴力に対する相談支援	3.08	3.09	3.15	3.14	3.14	3.22	3.20		3.26	0.06	満足度指数は、上昇傾向にある。 これは、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考えられる。 今後も、人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.26とする。	人権同和課	(2)
9	1	男女共同参画社会	●男女共同参画の意識づくり ●女性が活躍できる環境づくり ●人権の尊重と安心・安全な社会づくり ・人権・男女共生フェスティバルの開催 ・佐久市男女共同参画推進事業者表彰の実施 ・配偶者暴力に対する相談支援	3.10	3.03	3.10	3.07	3.12	3.18	3.21		3.33	0.12	満足度指数は、上昇傾向にある。 これは、男女共同参画社会づくりの取組の効果が少しずつ表れていると考えられる。 今後も、男女共同参画の意識づくりや女性が活躍できる環境づくりを社会全体で推進することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.33とする。	人権同和課、福祉課	(3)
10	2	土地利用	●秩序ある土地利用の推進 ●機能の集約とネットワーク化 ●土地需要の調整と土地利用の適切な誘導 ●国土調査の推進 ・調和ある都市的土地利用と自然的土地利用の推進 ・地籍調査の実施	2.82	2.87	2.99	2.93	2.95	3.02	2.99		3.00	0.01	満足度指数は、ほぼ横ばい傾向である。 今後、第二次国土利用計画(佐久市計画)による適切な土地利用の推進していくが、適切な土地利用を推進するには、時間を要すると考えられるため、満足度指数の現状維持を目指す。 目標値は、5年間で+0.01ポイントの上昇を見込み3.00とする。	企画課、耕林地務課、農業委員会事務局、都市計画課	(4)

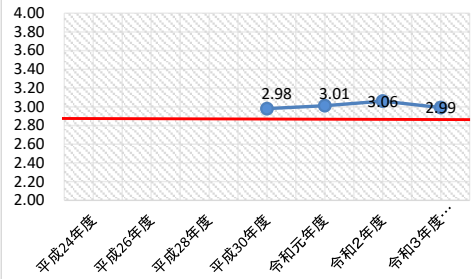
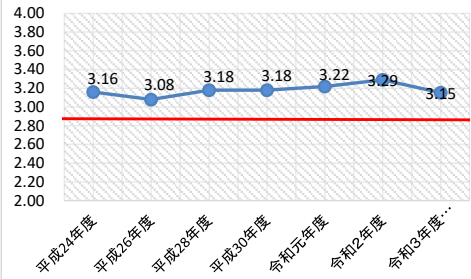
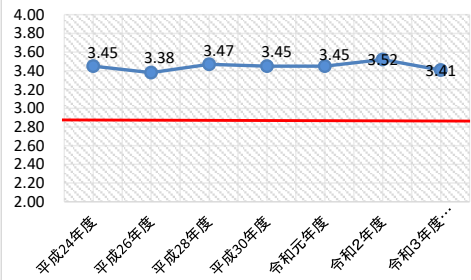
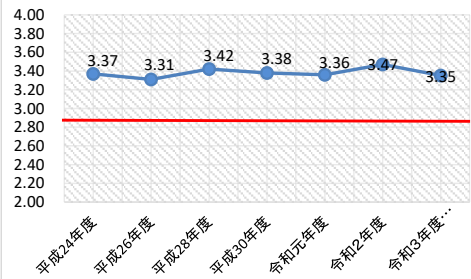
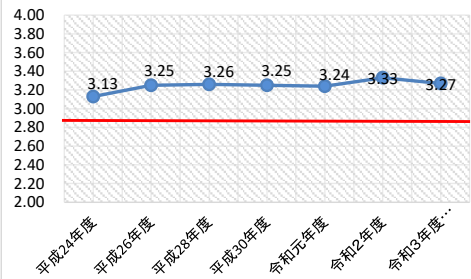
No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
11	2	市街地	●良好な市街地の形成 ・佐久平駅南地区の整備促進 ・駅前広場での清掃・照明等の修繕・除草・除雪	2.80	2.94	2.99	3.10	3.17	3.25	3.14		3.26	0.12	満足度指数は、上昇傾向にあったが、令和3年度においては下降となっている。 今後は、立地適正化計画に基づいた居住誘導区域と都市機能誘導区域への適切な誘導を行うべく、市街地整備事業などにより友好な市街地形成を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.26とする。	土木課、都市計画課、都市開発室	(3)
12	2	公共施設	●公共施設の適正な更新と整備 ●公共施設の管理方法 ・佐久市公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の最適化の推進 ・浅科支所、浅科会館、浅科福祉センターの複合化による建替事業 ・指定管理者制度など、民間の力を活用した施設の管理運営	2.93	3.02	3.09	3.01	3.16	3.22	3.21		3.22	0.01	満足度指数は、平均値より高くほぼ横ばいの傾向にある。 今後、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、施設の廃止や統廃合等が進められることから、満足度指数は下降傾向が見込まれる。 しかしながら、健全財政を維持し、安定した財政運営を図るための「公共施設の適正化」の理解を促し、市民と行政との意識の共有化に努めることで、満足度指数の現状維持を目指す。 目標値は、5年間で+0.01ポイントの上昇を見込み3.22とする。	企画課	(4)
13	2	住宅	●公営住宅の整備と管理 ●空き家対策の推進 ●住環境空間の創出 ●耐震改修の促進 ・公営住宅の管理運営 ・昭和56年5月31日以前着工の戸建て住宅の無料耐震診断や耐震改修工事に対する補助の実施 ・佐久市無居住家屋等対策計画の策定	2.88	2.88	3.01	2.89	2.94	2.96	3.00		3.01	0.01	満足度指数は、令和元年度以降上昇している。 今後、全国的な人口減少が見込まれる中、公営住宅については老朽化した建物の効率的かつ円滑な更新とコスト縮減を目指す必要がある。民間住宅については現存空き家の経年劣化や、少子高齢化による空き家の増加が予測され、また、国においては、新築住宅の優遇政策から中古住宅の流通促進へと政策をシフトする見込みから、満足度指数は下降傾向が見込まれる。 しかしながら、公営住宅の長寿命化施策に基づく予防保全や、空家等の適正管理・市場流通の促進、住環境整備の支援策の継続を図ることで、満足度指数の現状維持を目指す。 目標値は、5年間で+0.01ポイントの上昇を見込み3.01とする。	建築住宅課	(4)
14	2	高速交通ネットワーク	●高規格幹線道路等の整備と利用の促進 ●中部横断自動車道の早期全線開通の実現に向けた活動の推進 ●北陸新幹線の整備と利用の促進 ・中部横断自動車道の八千穂高原インター以南の早期整備に向けた要望活動	3.45	3.40	3.46	3.47	3.35	3.39	3.32		3.38	0.06	満足度指数は、令和元年に約0.1ポイント減少したが、その後はほぼ横ばいとなっているが、依然として高い値を維持している。 これは、北陸新幹線や中部横断自動車道などの高速交通網の利便性の良さなどによるものと考えられる。 今後は、中部横断自動車道の全線開通や松本佐久連絡道路の整備促進のため、沿線自治体の機運の醸成や効果的な要望活動に取り組み、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.44とする。	道路建設課、公園緑地課	(2)

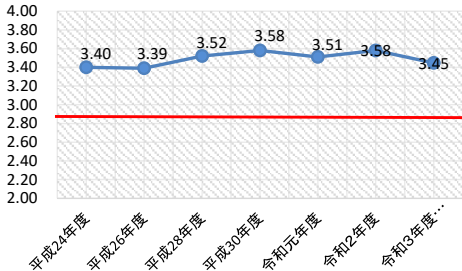
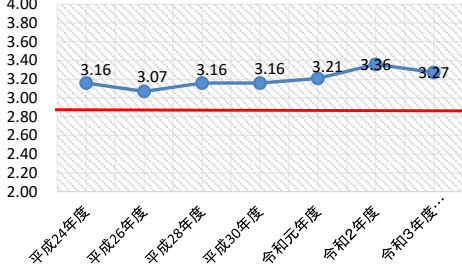
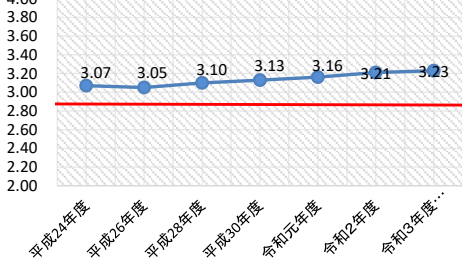
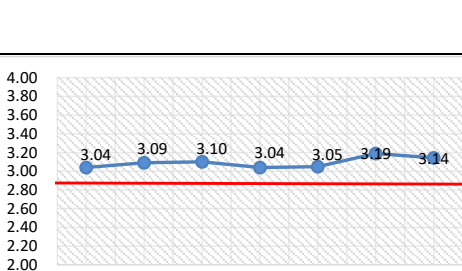
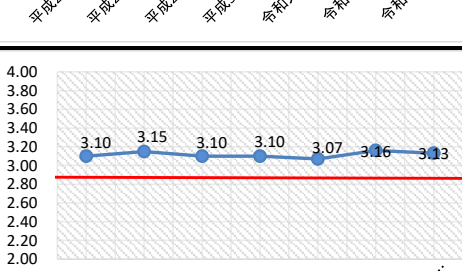
No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値 との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する 考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
15	2	地域交通ネットワーク	●地域幹線道路網の整備 ●生活道路の整備充実 ●道路等の計画的な維持管理 ●地域公共交通の維持・見直し ・跡部臼田線(第3工区)の整備 ・佐久市地域公共交通網形成計画の策定 ・市内巡回バス・デマンドタクシー等の運行	3.06	3.03	2.97	3.05	2.95	3.04	3.01		3.13	0.12	満足度指数は、ほぼ横ばい傾向となっている。 今後も、効果的な地域幹線道路網の整備や、計画的な道路の維持管理を進めることにより、また、地域公共交通については、デマンド交通を中心にした抜本的な見直しを行うことにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.13とする。	生活環境課、土木課、道路建設課、都市計画課	(3)
16	3	農業	●農業経営基盤の確立 ●農業生産基盤の整備と維持 ●安心・安全な食料の供給 ●活力ある農村づくり ・新規就農者や農業後継者の育成・確保及び支援 ・地産地消推進のための「山本麗子先生による料理セミナー」の実施 ・学校給食応援団の活動の推進	2.93	2.92	3.01	3.00	3.06	3.11	3.11		3.21	0.10	満足度指数は、過去5年間で+0.1ポイント上昇している。 今後も、新・農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の強化、農地の利用集積、安全安心な食料供給、農村の振興等に積極的に取り組むとともに、農業生産基盤については、補助事業を活用しつつ長寿命化を図るなど、安定的な整備・維持を推進し、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、前期基本計画期間の上昇幅と同様、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.21とする。	農政課、耕地林務課、農業委員会事務局	(1)ア
17	3	林業	●林業経営基盤の確立 ●林業生産基盤の整備と維持 ●多面的機能(健康づくりや観光、レクリエーションなど)を発揮する森林づくり ・森林整備を促進するための林道の改良や補修等 ・松くい虫防除対策や被害木の処理	2.84	2.88	2.85	2.86	2.92	2.95	2.99		3.03	0.04	満足度指数は、区要望による令和元年東日本台風災害の復旧や松くい虫防除事業の早期着手により、微増となっている。 今後は、ウッドショックの影響により、満足度指数の下降傾向が見込まれる。 しかしながら、森林経営管理法に基づき私有林整備を推進することで、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、森林整備を行う各年度+0.01を見込み3.03とする。	耕地林務課	(4)
18	3	水産業	●内水面漁業(淡水での漁業)の振興 ●佐久鯉のブランド化促進及び商業・観光業と連携した水産業の多面的な振興 ・佐久鯉やフナ消費拡大のためのPR ・「小ブナセミナー&水揚げ見学会」の実施	3.01	3.08	3.08	3.08	3.14	3.16	3.10		3.16	0.06	満足度指数は、横ばい傾向で推移している。 今後も、これまでの内水面漁業振興に加え、鰯の増産に資する調査等を進め、市民が求める生産量の確保に向けた支援を推進することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.16とする。	農政課	(2)
19	3	商業・サービス業	●商業経営基盤の確立 ●魅力ある商店街の形成 ●魅力ある中心市街地の形成 ●良好な商業環境の形成 ●流通・サービス業の振興 ●魅力ある商品のブランド化と発信 ・中小企業向け融資制度 ・商店街が実施するまちおこし事業への補助	2.86	2.85	2.87	2.84	2.87	2.94	2.96		3.05	0.09	満足度指数は、中央値を下回りほぼ横ばいである。 今後は、近年需要が高まりつつある空き店舗対策事業や新たな商業支援などで商業振興を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、前期基本計画期間の上昇幅と同様、5年間で+0.09ポイントの上昇を見込み3.05とする。	商工振興課	(1)ア

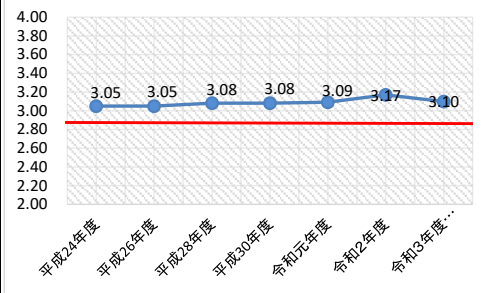
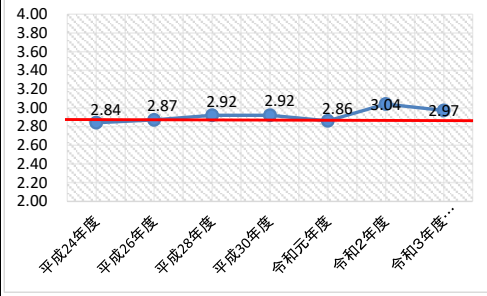
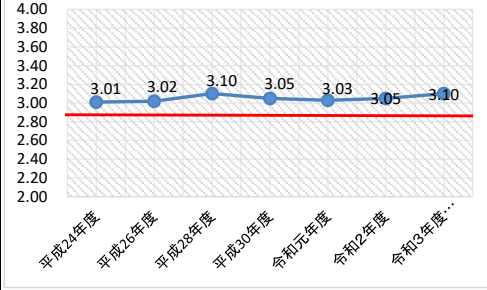
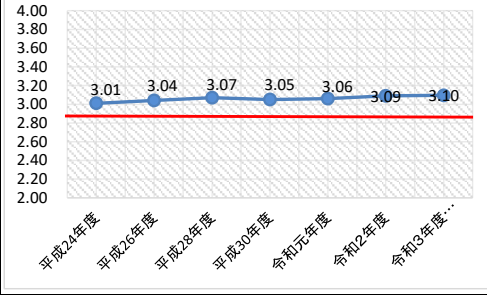
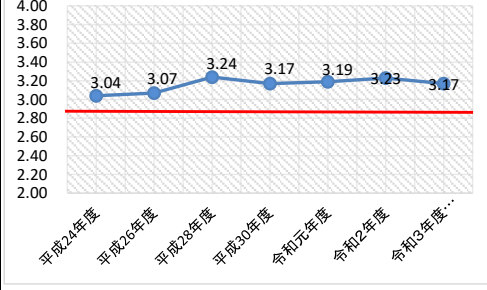
No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値 との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する 考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
20	3	観光	●魅力ある観光地づくり ●観光基盤の整備 ●観光情報の発信 ●農林水産業や商工業との連携による新たな体験型観光や土産品の開発の促進 ・健康長寿、食文化の表現による観光交流 ・内山牧場キャンプ場などの観光施設の整備 ・パルーンフェスティバル等の観光イベント	2.85	2.89	3.03	3.03	3.10	3.12	3.04		3.10	0.06	満足度指数は、上昇傾向にあったものの、令和3年度には下降している。 これは、効果的な観光誘客宣伝を進めてきたものの、コロナ禍において、イベントの中止や延期、また、観光誘客宣伝を自粛せざるを得ない状況であったため、満足度指数が低下したものと考えられる。 現在、ワクチン接種が順調に進み、感染者数も減少傾向にあり、感染症の収束後には国内観光の需要回復が見込まれることから、状況を見て観光誘客宣伝を再開することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.10とする。	観光課	(2)
21	3	工業	●工業経営基盤の確立 ●工業生産基盤の整備と活用 ●企業誘致の推進 ●農業・観光施策、異業種、大学との連携の促進 ●ものづくり人材の育成 ・企業間連携によるものづくり支援等への補助 ・佐久臼田インター工業団地の整備と企業誘致の促進	2.82	2.86	2.98	3.00	3.02	3.08	3.12		3.24	0.12	満足度指数は、中央値を上回り、緩やかな上昇傾向にある。 今後は、産業振興ビジョンを基とした施策展開を図り、新たな工業団地や、既存企業への効果的支援への検討を進めることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.24とする。	商工振興課	(3)
22	3	就労・雇用	●雇用機会の確保と人材育成 ●就労機会の確保 ●多様な担い手の就業の創出 ●働きやすい環境づくり ・インターンシップ事業や就職ガイダンスの実施 ・「さくさくワーク(佐久市無料職業紹介所)」による就職相談、職業紹介の実施	2.46	2.64	2.67	2.80	2.84	2.87	2.95		3.05	0.10	満足度指数は、、中央値を下回っているが、緩やかな上昇傾向にある。 今後は、就職相談会や首都圏における企業PRなどの既存支援の改善を図るとともに、ハローワークや県など、雇用に関連した機関との連携を図るほか、さくさくワークが求職者と企業をマッチングするなど細やかな就労支援を行うことにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.05とする。	商工振興課	(1)イ
23	4	健康増進	●地域における健康管理の担い手(保健補導員など)の育成 ●健康づくり活動の推進 ●食育の推進 ・健康に関する講演会の開催や、びんころ運動推進事業などの推進 ・佐久市の健康長寿の取組をブランド化し、国内外への発信	3.25	3.31	3.32	3.29	3.33	3.52	3.34		3.46	0.12	満足度指数は、高い水準で推移してきたものの、令和3年度は0.18ポイント下降している。 これは、コロナ禍において、保健補導員や食生活改善推進委員の地域活動や講座など、これまで活発に行われていた健康づくり活動や国内外の移動が制限されたことが要因として考えられる。 引き続き地域に根差す健康の担い手の養成、食育の取組、健康長寿のブランド化による佐久市の卓越性を磨き上げ、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.46とする。	健康づくり推進課	(3)
24	4	保健活動	●市民の生活習慣の改善に向けた保健活動の充実 ●感染症予防対策の推進 ●こころの健康づくり ・心といのちの支援相談員による相談の実施 ・地域集団検診やがん検診等の実施	3.23	3.30	3.19	3.28	3.32	3.48	3.32		3.44	0.12	満足度指数は、高い水準で推移してきたものの、令和3年度は0.16ポイント下降している。 これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やコロナ禍における検診の受診控えなどによる保健活動の規模の縮小が要因として考えられる。 今後は、健診の受診勧奨、感染症予防対策、こころの健康づくりの啓発などの保健活動を推進し、満足度の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.44とする。	健康づくり推進課、国保医療課	(3)

No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
25	4	医療	●地域医療体制の充実 ●浅間総合病院の充実 ・在宅当番医制、休日小児科急病診療センター事業の実施 ・浅間総合病院における医療機器や施設の計画的な更新	3.11	3.23	3.33	3.37	3.34	3.55	3.40		3.52	0.12	満足度指数は、上昇傾向であったものの、令和3年度は0.15ポイント下降している。 これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による医療機関の受診控えなどが要因として考えられる。 今後、在宅当番制、休日小児科急病診療センターの実施による安定した医療体制の提供及び浅間総合病院の医療機器、施設の計画的な更新による医療の受診体制の充実を図り、満足度の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.52とする。	健康づくり推進課、浅間総合病院	(3)
26	4	医療保険・国民年金	●国民健康保険の健全運営 ●後期高齢者医療制度の適切かつ円滑な運営 ●国民年金事務の適正な処理 ・国民健康保険加入者への特定健診等の実施	2.82	3.01	3.07	2.92	2.97	3.21	3.11		3.17	0.06	満足度指数は、平成30年度、令和元年度に中央値以下まで下降したが、令和2年度以降は中央値を超えている。 今後、国民健康保険被用者保険の適用拡大、団塊世代の後期高齢者医療制度への移行等により国保被保険者数の減少が加速すると予想される中、安定した国保運営を図り、引き続き医療費削減への取組や国保税の収納対策の強化等に努め、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.17とする。	国保医療課	(2)
27	4	地域福祉	●地域福祉の推進 ●ボランティア活動の促進 ●ユニバーサルデザインのまちづくり ・小中学校等を対象とした福祉体験学習 ・社会福祉協議会・NPOと連携したボランティアの育成	3.07	3.00	3.10	3.09	3.14	3.22	3.18		3.26	0.08	満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。 後は、関係機関と連携し、地域における助け合いが行われるよう、市民の地域福祉に関する意識の醸成を図るとともに、複合的な課題を抱える市民の自立の促進するため、包括的な支援体制の構築を進め、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、前期基本計画期間の上昇幅と同様、5年間で+0.08ポイントの上昇を見込み3.26とする。	福祉課、国保医療課	(1)ア
28	4	介護・高齢者福祉	●地域包括ケアシステムの構築 ●高齢者支援サービスの推進 ●介護保険の適正な運営と介護基盤の整備 ●高齢者の権利擁護の推進 ・「75歳・80歳おたっしや訪問指導事業」等の介護予防事業の実施 ・認知症サポーターの養成	3.00	2.97	3.09	3.08	3.09	3.25	3.22		3.32	0.10	満足度指数は、中央値付近を推移していた令和元年以前と比べ、令和2年度以降高い水準を維持している。 これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などによるものと考えられる。 引き続き介護・高齢者福祉施策の推進に努めることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10の上昇を見込み3.32とする。	高齢者福祉課	(1)イ
29	4	障がい者福祉	●障がい福祉サービスの充実 ●障がい児及び発達に課題がある児童などに対する支援 ●障がい者施設の充実 ●障がい者の社会参加の支援 ・相談支援事業 ・重症心身障がい児預かり事業「キッズケアチャレンジさく」の開催	2.99	3.01	3.06	3.01	3.10	3.17	3.11		3.17	0.06	満足度指数は、中央値前後ではあるが、近年上昇傾向にある。 後は、障がい福祉施策を推進していくとともに、関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.17とする。	福祉課、臼田学園	(2)

No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
30	4	ひとり親家庭支援・低所得者福祉	●ひとり親家庭への支援の充実 ●生活保障・自立支援の充実 ・ひとり親家庭等の相談支援 ・高等職業訓練促進給付金等のひとり親家庭への支援事業の実施 ・生活困窮者への自立相談や就労等の支援体制の充実	2.94	2.91	2.92	2.92	2.95	3.05	3.05		3.15	0.10	満足度は、令和2年度に3.05に上昇し、その後横ばいで推移している。 今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりの支援を行うとともに、相談支援体制、日常生活支援の更なる充実を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.15とする。	福祉課、子育て支援課	(1)イ
31	4	少子化対策	●結婚・妊娠への支援 ・結婚支援事業の実施 ・「コウノトリ支援(不妊治療等への支援)」の実施	3.14	3.24	3.22	3.01	3.10	3.10	2.94		3.06	0.12	満足度指数は、平成30年度から中央値付近を低い値で推移している。 結婚を希望する未婚の男女や子どもを授かることを希望するご夫婦に対し、引き続き結婚支援事業の実施やコウノトリ支援事業の活用促進を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.06とする。	健康づくり推進課、国保医療課	(3)
	4	母子保健	●妊娠・出産・育児の環境整備 ・産前教室として「パパママ教室」の実施 ・妊産婦(プレママ)への福祉医療給付金の支給 ・産後ケア事業(アウトリーチ型・宿泊型)の実施							3.22		3.34	0.12	満足度指数は、高い値となっている。 今後も、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化など、妊娠・出産・育児を取り巻く環境が大きく変化している中、引き続き切れ目ない施策の充実により、満足度の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.34とする。	健康づくり推進課、国保医療課	(3)
32	4	子育て支援・児童福祉	●子育て支援サービスの充実 ●保育サービスの充実 ●児童館の整備と運営 ・児童館、子育てサロン、つどいの広場等による子育て支援 ・子育て支援センター(仮称)の整備 ・延長保育、一時保育、休日保育、障がい児保育などの保育サービスの充実	3.20	3.13	3.20	3.16	3.27	3.30	3.24		3.36	0.12	満足度指数は、平均値を上回っているものの、上昇と下降を繰り返しており、令和3年度は前年度より0.06ポイント下降している。 今後、子育てに関する様々な相談にワンストップで対応する子育ての拠点施設の整備を始め、保育サービス、児童館運営などの子育て支援施策の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.36とする。	子育て支援課、国保医療課	(3)
33	5	環境保全	●総合的な環境保全施策の推進 ●環境保全対策(地下水の保全や公害防止など)の推進 ●生物多様性の保全 ・地下水盆を共有している12市町村による流域水循環計画の策定及び水資源保全に向けた取組 ・特定外来生物(オオキンケイギク・アレチウリ等)の駆除の推進	3.07	3.04	3.05	3.06	3.11	3.09	3.05		3.11	0.06	満足度指数は、横ばい傾向で推移している。 今後も、良好で快適な生活環境を維持し、自然との共生社会により地域特有の生物多様性を保全するなど、各種施策の実施により、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.11とする。	環境政策課、公園緑地課	(2)
34	5	街並み緑化・公園・景観形成	●緑豊かな街並みの形成 ●快適な暮らしを支える公園の整備 ●美しく豊かな景観の育成 ・総合運動公園等の公園整備 ・良好な景観の観点からの屋外広告物の規制	2.93	3.10	3.17	3.12	3.24	3.26	3.24		3.26	0.02	満足度指数は、上昇傾向であったが、令和元年度以降は横ばい傾向にある。 これは、市民交流ひろばや佐久総合運動公園の整備等によるものと考えられる。 新規公園の整備も完了したことから 、今後は、長寿命化計画に基づき、 老朽化した公園施設の計画的な改築・更新等を行い、適切な維持管理に努め、また、景観形成については 、引き続き長野県屋外広告物条例、佐久市景観条例・景観計画などに基づく規制誘導を図ることにより、満足度指数の 現状維持 を目指す。 目標値は、5年間で+0.02の上昇を見込み3.26とする。	公園緑地課、建築住宅課	(5)

No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
35	5	地球温暖化対策	●低炭素社会の推進 ●再生可能エネルギー施策の推進 ・佐久市地球温暖化対策実行計画に基づく取組 ・太陽光発電システム設置補助の実施 ・ペレットストーブ設置に対する補助の実施				2.98	3.01	3.06	2.99		3.11	0.12	満足度指数は、上昇傾向であったが、令和3年度は下降している。 今後は、地球温暖化対策の施策により温室効果ガス排出量の削減を図り、持続可能な社会を構築することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.11とする	環境政策課	(3)
36	5	環境衛生	●廃棄物(ごみ)処理対策の推進 ●し尿・汚泥対策の促進 ・リサイクルなど3Rの推進 ・不法投棄廃棄物の撤去と指導	3.16	3.08	3.18	3.18	3.22	3.29	3.15		3.21	0.06	満足度指数は、横ばい傾向にある。 今後も、うな沢第二最終処分場の延命化、ごみの減量化といった課題に対応するため、ごみの分別変更を実施するとともに、家庭ごみ処理手数料徴収の検討を進め、適切なごみ処理対策を実施することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.21とする。	生活環境課	(2)
37	5	上水道	●水資源の保全 ●上水道の整備・管理 ・県条例による水資源保全地域指定 ・災害時協力井戸の普及促進	3.45	3.38	3.47	3.45	3.45	3.52	3.41		3.45	0.04	満足度指数は、非常に高い値で推移している。 これは、生活に欠かすことのできない水道水の水源である地下水と湧水等が関係団体等により良質で安定した水の供給が図られていることによるものと考えられる。 今後も、水資源保全への取組、水資源の有限性や貴重さを啓発していくことにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、高い満足度を維持するため、3.45とする。	環境政策課	(5)
38	5	下水道	●水洗化の促進 ●下水道の健全経営の推進 ・下水道処理施設の維持管理 ・公共下水道、生活排水処理施設の統廃合	3.37	3.31	3.42	3.38	3.36	3.47	3.35		3.40	0.05	満足度指数は、高い値で推移している。 今後も、水洗化の促進や、下水道事業の健全経営を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、高い満足度を維持するため、3.40とする。	下水道課	(5)
39	6	防災	●防災体制の強化 ●防災対策の推進 ●市民の防災意識の高揚 ●武力攻撃事態等における国民保護体制の整備 ・総合防災訓練の実施 ・防災告知や行方不明者の情報提供 ・千曲川洪水ハザードマップの作成	3.13	3.25	3.26	3.25	3.24	3.33	3.27		3.39	0.12	満足度指数は、平成26年の大雪災害後上昇し横ばいで推移したが、令和元年東日本台風後は再び上昇傾向にある。 今後も、出前講座や実践的な防災訓練の実施、自主防災組織の充実・強化により、個人や地域での防災意識の高揚を図るとともに、災害時等の情報発信に努める。また、防災・減災に向け市が管理する道路や河川の整備を進めるとともに、県が行う河川整備や治水対策事業について促進することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.39とする。	危機管理課、土木課	(3)

No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							満足度指数の推移	令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
40	6	消防・救急	●広域消防・救急体制の強化 ●地域消防体制の充実 ●市民・民間の防火体制の充実 ・小型動力ポンプ付積載車等の整備・更新 ・消防団協力事業所・消防団応援事業制度の実施	3.40	3.39	3.52	3.58	3.51	3.58	3.45		3.51	0.06	満足度指数は、非常に高い値で推移している。 今後も、常備消防と非常備消防の消防力を維持するため、計画的な資機材・装備等の充実を図るとともに、実災害を想定した訓練実施による消防力の向上と、消防団協力事業所等制度への登録促進による消防団への協力体制を強化することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.51とする。	危機管理課	(2)
41	6	交通安全	●交通安全意識の高揚 ●交通安全環境の整備 ●交通事故に関する相談・救済対策の充実 ・老人クラブと連携した交通安全教室の開催 ・幼稚園、保育所、小中学校における交通安全教室の継続的な開催の推進 ・市道のガードレール等整備	3.16	3.07	3.16	3.16	3.21	3.36	3.27		3.37	0.10	満足度指数は、上昇傾向にある。 今後も、交通安全運動、高齢者に対する交通安全講座や子供に対する学校と連携した交通安全教室の実施等により交通安全意識の高揚を図るとともに、反射材やヘルメットの利用促進や、道路安全施設の整備により安全な交通環境を整えることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.37とする。	生活環境課、土木課	(1)イ
42	6	防犯	●防犯意識の高揚 ●防犯体制・防犯活動の強化 ●防犯施設の整備 ・防犯灯のLED化の実施 ・防犯パトロール、街頭啓発などの地域防犯活動の実施	3.07	3.05	3.10	3.13	3.16	3.21	3.23		3.33	0.10	満足度指数は、ほぼ微増傾向にある。 これは、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、今までの取組に一定の効果があったことによると考えられる。 近年は、高齢者を中心とした特殊詐欺に対する取組が特に重要になっていることから、警察や防犯組織と連携し、特殊詐欺を未然に防ぐ支援や防災行政無線などによる注意喚起を行い、今後も、関係機関との情報共有などによる連携強化を図るとともに、地域ぐるみの防犯活動を推進することにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.10ポイントの上昇を見込み3.33とする。	総務課	(1)イ
43	6	消費生活	●消費者意識の高揚 ●消費者保護対策(悪質商法契約など各種トラブルへの対策等)の推進 ●消費生活の改善 ・消費者被害防止のための高齢者講習の開催 ・佐久市消費生活センターにおける相談業務の実施	3.04	3.09	3.10	3.04	3.05	3.19	3.14		3.20	0.06	満足度指数は、やや上昇傾向である。 今後も、専門の相談員を配置した消費生活センターでの的確な相談対応に加え、消費者被害防止等の周知啓発を充実させることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.20とする。	生活環境課、環境政策課	(2)
44	7	市民協働・参加	●市民協働のまちづくり ●市民参加のまちづくり ●広報・広聴の充実 ●情報公開と個人情報保護 ・パブリックコメントや各審議会の公募委員の募集 ・市民活動団体への公益的活動支援「佐久っと支援金事業」の実施	3.10	3.15	3.10	3.10	3.07	3.16	3.13		3.19	0.06	満足度指数は、平均値よりやや低い値で横ばいに推移している。 今後も、協働に関する情報発信に努め、市民や行政、様々な主体が協力・連携して地域の課題解決に取り組む協働のまちづくりを推進することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.19とする。	広報広聴課、総務課	(2)

No	章	施策名	R3市民アンケートに記載されている第二次前期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)							令和8年 (目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	担当課	施策目標設定に関する考え方	
				平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (基準値)						
45	7	地域コミュニティ	●地域自治組織の育成 ●コミュニティ活動環境の充実(情報交換の促進や施設整備) ・区の活動や体制づくりの支援 ・地域コミュニティの活性化を目的とした地域おこし協力隊の導入及びその活動	3.05	3.05	3.08	3.08	3.09	3.17	3.10		3.16	0.06	満足度指数は、令和2年度に一時的に大きく上昇したものの、その他は緩やかではあるが上昇傾向にある。 今後は、人口減少や少子高齢化等により、地域のコミュニティ活動の低下が懸念され、また、都市化の進展と共に年々区の加入率も減少傾向にあり、共助の精神が希薄化することが予想されることから、それを克服する施策展開を図ることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.16とする。	総務課、企画課	(2)
46	7	行財政経営	●計画的・効率的な行政経営 ●計画的・効率的な財政経営 ●適正な人事管理と職員能力発揮 ●入札・契約の適正化 ●地元企業優先発注の推進 ・組織機構の見直し、外部評価の実施 ・施策評価による総合計画の進捗管理の実施 ・民間委託等による行財政の効率化	2.84	2.87	2.92	2.92	2.86	3.04	2.97		3.03	0.06	満足度指数は、中央値より低い傾向が強く、横ばいである。 今後は、更なる市民ニーズの多様化・複雑化が予測され、また、人口減少・少子高齢化に伴い社会保障関係経費等の義務的経費も増加することから、一層の計画的・効率的な行財政運営を行うことにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.03とする。	総務課、財政課、税務課、収税課、企画課、契約課	(2)
47	7	高度情報通信ネットワーク	●地域情報化の推進 ●電子自治体の推進 ●情報提供・情報発信の充実 ●情報セキュリティの管理 ・情報配信サービス事業「さくネット」の実施 ・公共施設への公衆無線LANの整備 ・既存伝送路設備のFTTH(光回線)化	3.01	3.02	3.10	3.05	3.03	3.05	3.10		3.22	0.12	満足度指数は、平均値には届いていないものの、上昇傾向にある。 これは、FTTH化整備の進捗に伴い、CATVの加入率は上昇しており、LINEの公式アカウントを活用したサービス拡充も順次進んでいることが考えられる。 今後、DXを本格的に推進し、オンライン申請の拡充等によるサービスの向上により、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.22とする。	情報政策課	(3)
48	7	地域間交流・国際交流	●交流人口・定住人口の創出 ●国際性豊かな人材育成 ●在住する外国人が暮らしやすいまちづくり ・「空き家バンク」や「移住体験住宅」の運営 ・国際交流フェスティバル・サロンの開催	3.01	3.04	3.07	3.05	3.06	3.09	3.10		3.22	0.12	満足度指数は、中央値付近ではあるが、上昇傾向にある。 今後も、交流人口・定住人口を創出するため、真に有効な施策を展開し、在住する外国人も含め、市民が暮らしやすいまちづくりを推進していくことにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、市として特に注力している施策のため、5年間で+0.12ポイントの上昇を見込み3.22とする。	移住交流推進課、広報広聴課	(3)
49	7	広域連携	●広域行政の推進 ●定住自立圏構想の推進 ●広域行政の組織機能強化 ・佐久地域定住自立圏に基づく事業の実施 ・佐久広域連携計画に基づく活力ある地域づくり	3.04	3.07	3.24	3.17	3.19	3.23	3.17		3.23	0.06	満足度指数は、平均値を超えほぼ横ばいである。 これは、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理の実施や、佐久地域定住自立圏による「ICT教育の推進」と「情報化の推進」の新たな2事業の連携が図られるなど、市町村間連携を強力に進めたためと考えられる。 今後も、人口減少社会の下、市町村間の役割分担や連携が重要となることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進めることにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.06ポイントの上昇を見込み3.23とする。	企画課	(2)
平均				3.04	3.06	3.12	3.11	3.14	3.22	3.18	3.26	0.08				